

当院における KRAS 変異陽性大腸癌一次治療における Oxaliplatin レジメンと Irinotecan レジメンの比較検討

1. 研究対象

当院で 2018 年 1 月から 2022 年 12 月の期間に、大腸癌に対するがん薬物療法的一次治療としてオキサリプラチンあるいはイリノテカンを用いた治療を開始した患者様

2. 研究目的・方法

現在の大腸癌治療ガイドラインでは一次治療および二次治療の薬剤では Oxaliplatin (OX) と Irinotecan (IRI) の逐次使用が推奨されている。順番に関しての推奨はなく、どちらを一次治療に使用しても治療成績に差がないとされています。しかし実臨床においての臨床経過は十分に明らかになっていません。本研究では、当院で 2018 年 1 月から 2022 年 12 月の期間に大腸癌に対する一次治療としてオキサリプラチンあるいはイリノテカンを用いた治療を開始した患者様を対象として、診療録のデータを用いて治療経過を調査します。得られた調査結果を今後の患者さんの治療に還元することを目的に本研究を行います。

研究期間：2018 年 1 月 1 日～ 2026 年 4 月 25 日

3. 研究に用いる情報の種類

以下の臨床情報を取得します。

診療録より、患者生年月日、性別、大腸癌の病期、組織型、遺伝子変異の有無、治療内容(手術内容・化学療法のレジメン)、治療の有害事象、治療後の効果判定、治療後の生存期間などを調べます。

4. 外部への情報提供

研究成果の学会、論文などにおける発表に際しては、調査させていただいた方々の個人情報が入院外に漏れることがないように、十分に配慮します。

5. 研究組織

長野市民病院 消化器外科

6. 問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。また、本研究の対象となる方またその代理人より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な処置を行いますので、その場合も下記へご連絡をお願いいたします。

尚、研究不参加を申し出られた場合でも、不利益をうけることはありません。ただし、お申し出をいただいた時点で既に研究結果が学会、論文などで公表されていた場合等には結果を破棄できない場合もあり、引き続き使わせていただくことがあります。

長野市民病院 消化器外科 関野 康

電話番号：026-295-1199